

経営課題3 【誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち】

阿倍野区に暮らす、すべての人々が住みなれた地域で、人として尊重され、お互いが支えあい、自分らしくいつまでも安心して幸せに暮らせるまちをめざします。

【主なSDGsゴール】



めざす成果及び戦略 3-1 【みんなで支えあう地域づくりと相談支援体制づくり】

【現状と課題】

- ・地域で支えあう力が重要ですが、少子高齢化の進展や世帯構造の変化により、地域のつながりが希薄化しています。
- ・区の福祉的ニーズが年々増加し、「複雑化・多様化・深刻化」しています。
- ・阿倍野区がめざしている「地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっている」と感じる割合について、これまでの取組による成果が出ています。
- ・地域福祉活動の参加について、参加しやすい身近な活動の啓発など、引き続き参加を促す取組を行っていく必要があります。地域の特性に応じた福祉課題を把握し、ニーズに合った福祉サービスに迅速につなげられるよう、日頃の見守り活動とさらなる地域住民同士のネットワーク強化が必要です。
- ・各地域における要援護者や複合的な課題を抱える世帯の増加が見込まれる中、身近な地域での支援体制の強化が必要です。
- ・複合的な課題を有する人や世帯への支援は、施策分野ごとの体制では十分に対応できないため、分野横断的かつ包括的に相談・支援を行う体制が必要です。

【中期的な取組の方向性】

「気にかける・つながる・支えあう地域づくり」、「誰でも、いつでも、なんでも言える相談支援体制づくり」を基本目標に、引き続き地域にかかわるすべての人や団体等が、誰もが幸せに暮らせるまちをめざして連携・協働して、環境の変化に応じた地域福祉活動に取り組むとともに、地域の包括的な相談支援体制の充実に努めます。
 複合的な課題を有する人や世帯に的確に対応するため、関係する事業者や支援者同士の連携を強化するとともに、総合的な支援調整の場(つながる場)や支援会議の仕組み等を活用し、適切な支援につなげていきます。
 ※地域福祉についての取組の方向性を取りまとめた「阿倍野区地域福祉計画(令和3～6年度)」の見直しを行い、令和7年度より新たな計画に基づき取組を進めます。

【アウトカム指標】(令和10年度までの目標) ※重点目標

区民アンケートで、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じると回答した割合:45%以上

6年度(参考)	7年度	8年度	9年度	10年度
45.1%				

具体的取組3-1-1 みんなで支えあう地域づくり

【現状と課題】

- ・現状の公的サービスや既存のしくみだけでは多種多様なニーズを持つ一人ひとりの生活を支えることは困難な状況にあります。
- ・地域住民が互いに見守り、支えあうことが必要ですが、少子高齢化の進展や都市化、核家族化など世帯構造の変化により、地域のつながりが希薄化しています。
- ・区内各地域で異なる福祉課題を把握し、それぞれのニーズに合った公的サービスに迅速につなげ、誰もが幸せに暮らせるように地域で互いが支え合う福祉コミュニティを醸成する必要があります。
- ・各地域における要援護者や複合的な課題を抱える世帯の増加が見込まれる中、身近な地域での支援体制を強化する必要があります。

【概要】

- ・要援護者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らが見守り体制等を構築し、新たなネットワークづくりができるよう支援します。
- ・当事者参画の機会を通じて、障がいや認知症に対する理解を促し、地域での見守り活動等の広がりを支援します。
- ・区社会福祉協議会と連携し、新たな地域福祉活動の担い手や取組を支援します。

【6予算】 37,881,000円 【7予算】 34,472,000円

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
見守り訪問等のボランティア活動	65,371回	70,000回	
認知症高齢者見守りネットワーク事業:協力事業者	419者	441者	
あべのあんしんステーション:協力事業者	150施設	147施設	
認知症サポーターに向けた研修・講演会等(当事者参画を含む)の実施	6回	5回	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
要援護者本人やその家族等に対するアンケートにおいて「地域などの見守りにより、日常や災害時に備え、安全・安心を感じるようになった」と答えた方の割合:50%以上		78.5%	

具体的取組3-1-2 相談支援体制の充実

【現状と課題】
 ・「つながる場」や、相談支援機関主催の会議、研修、相談ケース等を通じて、少しずつ多機関連携の輪が広がりつつある阿倍野区ですが、全国的に少子高齢化、単身世帯の増加、地縁・血縁の希薄化などが進み、福祉課題が一層複雑化・多様化・深刻化するなかで、複合的な課題等を抱えた世帯を支援する仕組みの構築に関しては現在も課題の残るところです。

【概要】
 ・「複合的な課題等を抱えた世帯を支援する取組」と「相談支援機関・地域・行政等の連携の促進に向けた取組」を一体的に実施することで、「相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制」を構築していきます。
 ・今後も引き続き、「相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制」の構築をめざし、「顔の見える関係づくり」を進めてまいります。



【研修会の様子】

【6予算】 125,000円	【7予算】 125,000円		
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
複合的な課題を抱える世帯への支援に関する相談受付	36件	35件	
事業周知及び各種会議への参加	104回	100回	
総合的な支援調整の場「つながる場」の開催	3回	5回	
相談支援機関・区役所職員等を対象とした研修会の開催及び協力	9回	10回	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
相談支援機関・地域・行政に対して、研修や、「つながる場」で参加者アンケートを実施し「顔の見える関係づくり」ができた」と答えた人の割合:80%以上		96.8%	

具体的取組3-1-3 地域福祉活動の推進

【現状と課題】
 ・個人の生活様式や価値観が多様化し、少人数世帯、独居高齢者世帯等の増加といった地域コミュニティを取り巻く社会環境が変化し、また、ICTの進展に伴い個人の生活様式や価値観も多様化してきています。
 ・人と人とのコミュニケーションやつながりなど、住民が主体的に相互に助け合う地域のコミュニティの希薄化が懸念されています。
 ・地域福祉を具体化するためには、住民をはじめ、地域において活動する多様な主体と行政が共に地域を担う主体として、協働しあう社会を創造していく必要があります。
 ・住民、地域団体、NPO・社会福祉事業者、企業等の様々な活動主体と行政がお互いを認め合い、連携を深め、それぞれが有する強みを発揮することで、課題解決に向けた協働の取組を広げていくことが重要です。

【概要】
 ・令和7年3月策定の「第3期阿倍野区地域福祉計画」の意義や取組等を地域へ浸透させ、「地域福祉」の推進に向けた体制づくりを支援します。
 ・地域福祉活動(地域防災に関する活動、児童の登下校時の見守り活動、ふれあい喫茶などのサロン活動、子育てサロン、こども食堂など)への参加者を増やします。

【6予算】 158,000円 【7予算】 158,000円



【つながりフェスタの様子】



【地域福祉ミーティングの様子】



【ふれあい喫茶の様子】

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
地域福祉推進会議における、地域福祉計画の進捗に関する情報交換、課題集約	3回	1回	
地域福祉イベント等における広報活動	2回	2回	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、地域福祉活動に参加したことがあると回答した割合:30%以上		25.0%	

めざす成果及び戦略 3-2 【地域ぐるみで、誰もが元気に暮らせる健康づくり】

【現状と課題】

- ・健康寿命を延伸するためには、生活習慣病の改善・早期発見、早期治療が必要と言われています。阿倍野区の特設健診の受診率は、大阪市内では高いものの、国や大阪府の受診率と比べると低い数字です。
- ・区民に対して健康増進や生活習慣病予防、疾病に関する正しい知識の普及・啓発が必要です。
- ・健康づくりの一環である運動「あべのウォーク」や介護予防を目的とした「いきいき百歳体操」、こどもの保護者向けの「食育事業」等を推進することで健康づくりの機運をこれまで以上に高める必要があります。
- ・各イベントの参加者が固定化しており、若年者層を初めとした新規参加者を促す取組が必要です。
- ・区民の健康づくりを主体的に担っていただける人材について、人材の確保と知識や意識の向上を行う必要があります。

【中期的な取組の方向性】

引き続き、誰もがすこやかに暮らすことができるよう、区民一人ひとりの健康意識を高め、主体的に健康づくりに取り組めるよう支援し、健康寿命の延伸に努めます。
また、健康づくりイベントの参加者拡大に向けたより効果的な情報発信を行うとともに、イベントの担い手に対する意識の啓発と知識の向上に努めます。

【アウトカム指標】(令和10年度までの目標)

区民アンケートで、35歳以上の方で運動習慣があると認められる割合:40%以上

6年度(参考)	7年度	8年度	9年度	10年度
38.2%				

具体的取組3-2-1 区民との協働による健康づくりの推進

【現状と課題】

- ・「あべのウォーク」の参加者は、新型コロナウイルス感染症以前の水準には回復していませんが、回復しつつあります。
- ・生活習慣病予防には青壮年期からの運動の習慣化が重要ですが、参加者が固定化しており、青壮年期の参加者が少ない状況です。
- ・多様な年代の新規参加者の参加を促すため、魅力的なウォーキングイベントを企画するとともに、より効果的な情報発信が必要です。
- ・区民の健康づくりを主体的に担っていただけるサポーターを育成する必要があります。また、サポーターの知識の向上とモチベーションの向上が必要です。

【概要】

- ・健康づくりの一環としてウォーキングイベントを実施するとともに、イベントの企画・運営を行うサポーターのスキルアップを目的とした講座を開催します。
- ・区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう支援するとともに、広報紙・SNSなどを活用した情報発信を行います。

【6予算】 482,000円 【7算定予算】 487,000円



【あべのウォークの様子】



【あべのウォーク(セレッソ大阪コラボ)】

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
ウォーキング大会	3回	3回	
あべのちょこっとウォーク(各老人クラブ連合会との協働)	5回	5回	
ウォーキングサポータースキルアップ講座	2回	2回	
広報紙・ホームページへの掲載各種	随時	随時	
各種健康講座での周知	随時	随時	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
ウォーキング大会参加者のうちウォーキング大会が運動の習慣化につながると答えた方の割合:70%以上		91.0%	

具体的取組3-2-2 地域に密着した食育の推進

【現状と課題】

- ・ライフスタイルや価値観・ニーズの多様化により、不規則な食事や栄養バランスの偏りなどの問題が生じています。
- ・特に、未就学児の食事に対する保護者の不安や心配事の解決が重要であり、保育施設や幼稚園、学校をつなぐネットワークを確立・強化し、地域に密着した食育を推進する必要があります。
- ・こどもの保護者向けに、正しい知識と健全な食生活の普及啓発を行う必要があります。

【概要】

- ・地域に密着した継続的な食育を推進するため阿倍野区食育推進ネットワークを強化します。
- ・正しい知識と健全な食生活を普及させるため、こどもの保護者の食に対する不安や悩みを解消し、さらにこどもの頃から健全な食生活を実践できるよう情報発信を行います。

【6予算】 262,000円 【7予算】 268,000円



【調理実習の様子】



【食育祭ミニセミナーの様子】

主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
阿倍野区食育推進ネットワーク連絡会の開催	1回	2回	
こどもの保護者に対する食育ミニセミナー	1回	1回	
離乳食講習会	12回	12回	
乳幼児健診時の栄養相談	41回	41回	
子育て支援施設等での講話・調理実習	17回	10回	
取組によりめざす目標(令和7年度の目標)		6年度実績	7年度実績
食育推進ネットワーク関係機関のうち、連絡会や担当者研修会の取組内容に満足している団体の割合:70%以上		100%	

施策推進のために(より便利な区役所づくり)

「つながる・備える」、「育む・学ぶ」、「暮らす・支えあう」を推進するために5つの取組で支えていきます。

方法1 区民ニーズの的確な把握			
区の施策や事業などについて意見やニーズを把握し、施策・事業に反映します。			
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
区政会議全体会・部会の開催	6回	5回	
教育会議の開催	3回	3回	
区民アンケートの実施	年2回	年2回	
取組によりめざす指標		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じると回答した割合:50%以上(令和7年度より)		—	

方法2 区政情報の効果的な発信			
必要とする情報をすべての世代に適切な方法で発信します。			
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
広報紙による発信	12回	12回	
ホームページ・SNSによる発信	通年	通年	
区広報掲示板による発信	50カ所	50カ所	
取組によりめざす目標		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、区の様々な取組に関する情報が、区役所から届いていると感じると回答した割合:50%以上(令和7年度より)		—	

方法3 DXの推進			
デジタルツールの活用・普及によって、より利便性の高い行政サービスを推進します。			
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
AI音声認識ツールを活用した窓口の利便性向上取組	—	2カ所	
来庁前予約の実施	4カ所	4カ所	
取組によりめざす目標		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、デジタルツールの活用・普及によって、利便性の高い行政サービスが推進されていると回答した割合:50%以上		92.5%	

方法4 官民連携の一層の強化			
企業、大学などの機関と連携して、お互いの強みを活かすことで、阿倍野区がめざすまちの実現に向けて、「地域の活性化」や「区民サービスの向上」に努めます。			
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
区主催のイベント等への参画	5回	5回以上	
連携先所有デジタルサイネージ活用による広報	通年	通年	
企業の窓口や店舗でのチラシ等の配架	通年	通年	
取組によりめざす目標		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、企業・大学等との連携により、地域の活性化や区民サービスの向上につながっていると回答した割合:50%以上(令和7年度より)		—	

方法5 SDGsの推進			
SDGsの目標達成に向けて、各種周知や啓発に努めます。			
主な取組	6年度実績	7年度計画	7年度実績
SDGsオリジナルゴールマークによる啓発	11回	12回	
企業等のSDGsの取組紹介	通年	通年	
17個のゴールについての動画放映	通年	通年	
取組によりめざす目標		6年度実績	7年度実績
区民アンケートで、SDGsを知っていると回答した割合:80%以上(令和7年度より)		—	